

# 伯利西爾時報社 伯利西爾時報社

新行  
講  
七  
四  
一  
六  
七  
〇

南京遷都に  
逸早く漢口へ移轉決定  
英大使館も

【上海十七日】南京政府の遷都に  
より英大使館は逸早く漢口へ移轉  
に決定し船舶の都合つき次第南京  
を出發する事になった

# 黄河以北の殘敵清掃

我包圍下に頻りに轉走

【平原十六日】我包圍陣に逐次壓縮されつゝある第廿九、八十、廿の敵三ヶ師は十三日來皇軍  
の進撃の聲に早くも戦意を失ひ僅かに包圍網のこぼれより轉走せんと狂奔してゐるのみであつた  
黄河以北敵の殲滅はこゝ數日中さ見られる

# 平湖市街の一占領す

荒鷺縱横無盡の活躍

【上海戰線〇〇十六日】午前十一時新銳上陸部隊の一部は平湖（シャブ）の西北方十五キロの敵に猛撃を加へ激戦の後市街の東方一角を占領した

【上海十六日】上海戰線軍事問題調査委員會は十六日午前十時半参

内宮鳳凰閣にて天皇陛下に拜謁を賜ひ更に大使

伴皇皇后陛下に拜謁を賜ひ更に夫人同

は賢所參拜の仰付せられた

【上海十六日】駐獨大使に新任さ

れた東獨敏德特命全權大使は近く

に發表した

支那軍戰死傷八十万  
萬國赤十字代表ワ伯發表

【上海十六日】日下長沙にある萬國赤十字社代表ワ伯伯は南

北兩戰線に於ける支那軍隊傷亡に八拾萬人に達する旨本日正式

に報告した

唐子外五名は十六日前九時東京

丸で上海に向ひ廿七日歸京の豫定

である

【上海十六日】國民政府の重慶移

轉に就き、在留外人も當然南京を

去ることとなるが現在南京在留外

人の數は左の如くである

英國 三十八名

米國七十名

（内女十九名）獨逸百名（内女

十九名）

國府長慶移轉に  
南京在住の外人も去る

【上海十六日】國民政府の重慶移

轉に就き、在留外人も當然南京を

去ることとなるが現在南京在留外

人の數は左の如くである

英國 三十八名

米國七十名

（内女十九名）獨逸百名（内女

十九名）

# 遂に南京遷都を決す

政府官吏・雇員等八割を解雇

# 長期抵抗覺束なし

## 國府次第に地方軍閥化

【上海十七日】南京遷都を決定した國民政府は昨日政府官吏並びに雇員の八割に解雇を  
言渡し故郷に歸る旅費だけを與へお拂ひ箱とし、寢耳に水の俄か失業者達は家族を引き連れて右往左往市民の群に交じつてこつた返し大混亂に陥り然もトランク、自動車等は軍隊に徵發された爲汽船、民船その他の乗物と云ふ乗物には超満員の光景を呈してゐる

【上海十七日】味方の陣地を重要都市が日ごと失へて行く敗勝たる敗戦の影響を支那として政府の揚子江上流移轉を決せしめるに至りしがれにより國府の大變は果然一大變革が來た。主席林森は南京より二千キロを退いて重慶に立候。外交、財政、内政、交通等の機関は武官を中心とし集結、將介石が主班として作戦司の軍事中権タカイは南京に踏み止まり三段階にかけての陣容を整へて堅強一番南京興亡の決戦を行はんとする國府の根本は愈々國府採り來つた抗日政策審議の日が緊迫して來た

# 革變大一に勢大の府國・然果

## 國內に動搖の色漲る

### 蔣飽迄南京死守言明

【上海十七日】國民政府の南京遷都決定により國內に動搖の色みなぎつてゐるので蔣介石は本日全國民に對し軍人として飽迄南京を死守する旨言明した

## 威武燐然作戰完了

### 山東省大半我掌中に歸す

【平原十七日】敗走する敵を追集中の我駐井、沼田部隊は十六日午後相前後して清河の鐵橋に迫つた、これで未永快速部隊の外諸部隊は各々認定の如く轟々たる威武な諸所に發揚して八十里に亘るところを黄河南に沿ひ早くも山東省の半ばを擧げて我軍の手中に收めた

## 高陽一帶の共產匪に空陸呼應猛爆擊敢行

【上海十七日】國民政府の南京遷都決定により國內に動搖の色みなぎつてゐるので蔣介石は本日全國民に對し軍人として飽迄南京を死守する旨言明した

【上海十七日】我軍は十六日未明黄河大鐵橋に迫り津浦線を遮断し午後四時濟南北方八キロの關山を占領

【天津十六日】我軍の黄河以北包圍作戦により韓い短兵及び廿九軍の敗殘兵は殆んど一兵も残さず

【天津十六日】我軍の黄河以北包圍作戦により韓い短兵及び廿九

# 果して何事を議せしや

## 法相、州知事の密議

歸聖後司令官引見も意義深し

### 新政府支持の一大新政黨出現か

南大河聖州方面で運動開始

南大河州新憲法  
起草委員にカ氏任命

南大河州新憲法起草委員に同州

民地女子青年會

金一〇針宛

古庄イシ

稻田チヨ

田カエ

稻井子

山田ハ

田中ミヨ子

田中政子

桐本ミヨ子

田中文子

里見ムメ

田中ヤス子

竹村ツル

井中クヲラ

井中千代

川口吉男

橋崎六男

中野ミツ子

三浦ミツ子

高木ミツ子

佐藤ヒロア

西谷義和

## 在伯母國銃後獻金婦人會

第三回 發表 (敬稱略)

橋池ヨコ 堀池イヨ 高

登子 五針宛 篠原マツ 寺西伊

金二〇針宛 阿賀チエ 石本

金二〇針宛 郡村美津枝 駒田

金二〇針宛 今村チヨ 三谷ナエ 村本ト

岩永ツタノ 橋田シズ 村本ト

シナ 佐藤

木トモ子 游本ツキノ 水上子

一金五針宛 東治林ソウ

セ 菊地クニエ

齊藤カノ 石川梅乃 落合シユ

市川キミ 田中政子 桐本

照子 田中文子 里見ムメ

岡ヨシエ 田中文子 渡壁久子

久保千代 布村スキ

山下ミキ 中尾生代 矢吹千代

吉村ハツエ 松井くわ

ル 松井君子 市川シヅ子 山

本アサ 関田ヤス子 竹村ツル

鈴木ナミ 佐藤ヒロア

木戸泰造 川口吉男 横崎六男

橋池ヨシキ 田中行雄 清水外

小川文子 伊藤シズ子 内海

森原房子 古田土キン 山崎ス

吉田カツ子 朝倉貞子 岩間

平崎春江 山崎六男

相馬ツボミ 佐藤すみ子 渡邊

玲子 平崎春夫 岸本クラ

金二〇針宛 朝倉貞子 岩間

子 茂松枝 古田土キン 山崎ス

民地女子青年會

金二〇針宛 朝倉貞子 岩間

子 大政タマエ

子 西野春江



